

令和7年度予算に係る「夢みらい鎌倉」代表質問原稿（20250218）

令和7年度鎌倉市一般会計予算外諸議案に対し、夢みらい鎌倉を代表し、質問をいたします。

令和7年度予算は、一般会計は809億7,390万円であり、前年度当初予算と比較して、65億1,890万円、8.8%の増加となっています。特別会計と合わせた予算総額は、1,348億1,117万8千円で、前年度当初予算と比較して、74億4,620万1千円、の増加となっています。

増額した主な理由としては、一般廃棄物焼却処理等業務をはじめとした物件費の増、児童手当などの扶助費の増や、職員給与費などの人件費の増額が挙げられています。

市長も私たち市議会議員も今年（令和7年）には改選が予定されており、市長として、市議会議員として、任期最終年の予算編成となります。

この4年間の予算編成を振り返ってみますと、令和4年度予算は新型コロナウイルスがはやり始めてから3回目の予算編成でコロナ終息後を見据えた「ミライツクル予算」を掲げ、令和5年度予算は、国によるコロナウイルス感染症部類が2類から5類に移行することが発表され、いよいよ本格的なポストコロナの時代に突入し、「ミライへ育む（はぐくむ）予算」、令和6年度予算は、新たなステージへ前向きに進む意味合いから「ミライへはばたく予算」、そして令和7年度予算は、鎌倉のまちが次の世代、そして、未来へと確実につながっていくよう、しっかりと基盤を整えていく一年にしたいという思いから「次のステップへ～ミライへの架け橋予算～」としています。

昨年は、元日から能登半島地震や夏の異常な暑さ、豪雨災害など自然の驚異を痛感する一年でしたが、夏に開催されたオリンピック・パラリンピック競技大会において、鎌倉ゆかりの選手の活躍によって、市民栄誉賞の受賞など明るい話題も頂いております。

行政課題が刻々と変化している中、時代の流れに沿った予算編成が求められています。持続可能な都市経営とするためには、懸案事項を解決しつつも、未来に責任の持てる政策、予算をしっかりと見極めて、市民の皆様が安心して暮らせ、満足度の高いまちづくりを進めていかなければならないと考えています。

今回の代表質問では、会派として課題ととらえている政策や新年度予算における重点事業の疑問点を含め、関連した項目ごとに質問してまいります。

1 行財政改革について伺います。

(1) 行政DXの推進には、市民向け手続きや、庁内の事務手続きのオンライン化が重要であると認識していますが、現在までの取組と今後の展開について伺います。

(2) 今後策定予定の次期職員数適正化計画においては、全庁的に業務負担が大きくなる中で、必要な場所に必要な人員・人材を配置することが重要と考える。特にマンパワーが必要な部署には常勤職員を増員するなど、非常勤と常勤のバランスを含めた全体配置を検討して欲しいと考えますが、如何でしょうか。

(3) 公共施設再編計画については、令和7年度から見直しに着手するとのことですが、市内の多くの公共施設が老朽化している状況の中、今後の見直しに向けた方向性について伺います。

(4) 市民の安全・安心対策を推進するため、防災・防犯に特化した組織で重点的に取り組む必要があると考えますが、如何でしょうか。

2 防災安全について伺います。

(1) 津波浸水想定区域内での避難対策を全庁的に取り組むとされていますが、どのような体制で連携を行い、今後につなげていくのか、伺います。

(2) 防災リーダーオンライン研修は今年度で終了と聞いていますが、地域で防災に取り組む人材の育成は外国人も含めて重要だと考えます。今後、市としてどのように取り組んでいくのか、伺います。

(3) 闇バイトや詐欺事件に対する不安が高まる中、防犯カメラの有用性は高い。今後、市として防犯カメラの設置をもっと積極的に行う必要があると考えますが、如何でしょうか。

(4) 昨今増加してきている特殊詐欺被害を防止するため、警察と連携するなど、市としても犯罪対策に取り組んでいく必要があると考えますが、如何でしょうか。

(5) 街頭防犯カメラの整備について、住民に安心感を与え、犯罪への不安を軽減させるためにも、防犯カメラの存在を認識させるための取組みを行っていく必要があると考えますが、如何でしょうか。

3 自治会町内会について伺います。

(1) 地域の身近な居場所として、町内会館や自治会館を多目的にかつ積極的に活用することが必要だと考えますが、市として会館を所有している自治会町内会へ何か働きかけができないか伺います。

4 福祉について伺います。

(1) 広報かまくらをはじめ、市が発行する刊行物は、点字、音訳版を作成するなど、視覚障害のある方にも、情報がきちんと伝わるようにしていかなければいけないと考えますが、如何でしょうか。

(2) 市の公共施設について、段差のコントラスト、照明、洋式トイレ設置、点字ブロックなど、バリアフリー化を進めていただきたいと考えますが、如何でしょうか。

(3) 福祉サービスに伴う諸手続きはもとより、ハザードマップなど平時における防災情報の提供や災害時の避難所対応についても、点字・音訳など、視覚障害者の立場に立った対応を行っていただきたいが、如何でしょうか。

(4) 障害のある方々も安心して投票できるよう、選挙における投票所のバリアフリー化を推進してもらいたい、如何でしょうか。

(5) 障害のある方が外出する際の支援を行うガイドヘルパーが不足する中で、ガイドヘルパー養成のための講座受講者に対する支援や、多くの方々に受講していただく工夫が必要と考えますが、如何でしょうか。

(6) 農業就労体験セミナーについて、現状とこれまでの成果、今後に向けた課題について伺います。

(7) デジタル就労支援センターKAMAKURA における支援の現状とこれまでの成果、今後に向けた課題について伺います。

(8) 障害者二千人雇用センターにおける支援の現状やこれまでの成果について伺います。

(9) また、障害者二千人雇用センターは、市の障害者雇用推進に向けた中核的な施設であることから、設置場所や具体的な支援内容について、さらなる周知・啓発に努め、一人でも多くの方の就労に結びつけていただきたいが、如何でしょうか。

(10) 多世代交流事業についての今後をどのように考えているか、伺います。

(11) これまで訴えてきた高齢者の外出支援策が出てきたが、交通費を助成することにより、どのような効果を期待しているのか、伺います。

(12) 老人センターの多世代交流が進む一方で、こどもの居場所を増やして欲しいという声も高まっています。そろそろコミュニティーセンターとしての活用に切り替える時期でもあると思いますが、如何でしょうか。

(13) 駅のホームドアの設置やホームからの転落検知システムの導入のほか、湘南モノレールや江ノ電の駅においてはタッチ式の簡易改札機まで誘導するための点字ブロックや音響装置の設置など、視覚障害者に配慮した取り組みをお願いしたいが、如何でしょうか。

(14) 移動円滑化の視点として、湘南深沢駅のエレベーターについては早期設置が必要と考えますが、如何でしょうか。

(15) 避難所としての位置付けもある小学校体育館のトイレについては、洋式トイレの設置にあたり、バリアフリー化の視点も含めた検討として欲しいが、如何でしょうか。

5 子育てについて伺います。

(1) 鎌倉市では「放課後かまくらっ子」事業の運営を担う指定管理者選定にあたって公募に参入する数が急激に減少している現状で、令和7年度に予定している「放課後かまくらっ子」事業の指定管理者選定にあたっては応募が集まるよう対策する必要があると考えますが、如何でしょうか。

(2) 待機児童の解消や「こども誰でも通園制度」を見据えた取組、制度の周知について、伺います。

(3) 市内に産院は二つ、それも大船地域のみのため、鎌倉地域から通院する場合のタクシー代の補助をして欲しいが、如何でしょうか。

(4) 鎌倉地域に新たな産院設置の検討をお願いしたいが、如何でしょうか。

(5) 電動アシストや子どもシート付きの自転車は2段ラックに駐車しにくいため、このような自転車が駐車できる置き場の拡大をお願いしたいが、如何でしょうか。

(6) 青少年の居場所『cocoru』が令和6年11月に開設し、利用者登録も増加傾向にあり、当初60名だったものが100名を越え、益々充実して生徒達が活動し易い支援が必要だが、このことについてどのように考えているか、伺います。

6 環境について伺います。

(1) 燃やすごみの戸別収集が開始されますが、品目の拡大が必要と考えます。今後の品目拡大についての検討状況を伺います。

(2) 持続可能な処理体制の確立には、2市1町広域化実施計画を中心とする運用が必要であると考えますが、計画との乖離に対し、どのように見直しを図っていくのか伺います。

(3) 海洋ごみの対策は沿岸部の市町村の負担というの大きい中で、海に流れる前に街や川の上流で防ぐことも必要であり、鎌倉市からの提案により令和3

年度から海洋プラスチックごみ削減のための啓発活動の取組をしています。各市での事業だけでなく、さらなる連携強化に取り組んでいただきたいが、如何でしょうか。

(4) 重点対策加速化事業費補助金を活用するのは良いことだが、2030年までの削減目標及び2050年カーボンニュートラルに向けて着実に取組を進める必要があり、現在までの進捗と今後の取組方針について伺います。

7 漁業・農業について伺います。

(1) 令和6年度から農業振興地域の整備計画の見直しを行っていると思いますが、現在の進捗状況と今後の見通しは如何でしょうか。

(2) 鎌倉地域の漁業支援施設の整備が進み、いよいよ令和7年度には防波堤工事が始まることとなり、今後、計画に従ってスケジュール通り事業を進めて欲しいと考えますが、如何でしょうか。

8 観光について伺います。

(1) 京都市が宿泊税の増額を進めているほか、新たに宿泊税を導入する自治体が増えています。鎌倉市においても、宿泊税など、観光税の導入を早期に実現すべきと考えますが、如何でしょうか。

(2) 観光客等による食べ歩きが流行っており、市民からもマナーについて多くの苦情が届いています。食べ歩きに対する規制強化への条例改正を求めたいが、如何でしょうか。

(3) 外国人観光客への災害情報の提供について強化していくべきと考えますが、市ではどのような取組を行っているか、伺います。

(4) 近年の鎌倉の観光の激増に伴い、観光の質を高めるために、観光トイレ、公衆トイレの有料化や公衆トイレの洋式化が必要と考えますが、如何でしょうか。

(5) 観光客の利用増加による清掃の問題等から、トイレの貸し出しを停止する店舗が増えており、観光客だけでなく住民も困っている現状があります。

トイレ協力店の制度をより活性化させるために、協力店舗への補助等、市としてトイレに対する新しい方策を進めるべきと考えますが、如何でしょうか。

(6) 海水浴場の市民の利用や、市内の子どもの利用が減っているのではないかと考えます。海水浴場をより市民や市内の子どもが利用しやすい施策に取り組んでいくべきと考えますが、如何でしょうか。

(7) 海岸の下水道排水設備について、令和7年夏には設置完了し利用可能となることを目指していたが進捗が遅れているとのこと。令和7年度の事業内容と今後の取り組みについて、伺います。

9 みどり・公園について伺います。

(1) 鎌倉市内の私有地のがけ地の防災対策について、緊急を要する処理が年々増えているため、年度末に既成宅地等防災工事資金助成制度の予算が足りなくなってしまう傾向が見受けられます。予算を増額すべきと考えますが、如何でしょうか。

(2) 近年、温暖化が進んだ影響もあり、樹木の成長が早く、今まで以上に緑地の維持管理の重要性が高まってきていると考えています。今後、市が市内の緑地全体の管理と維持に対してどのように取り組んでいくのか、伺います。

(3) 鎌倉海浜公園由比ガ浜地区のバスケットゴールのある場所について、雨が降ると地面に水たまりができ、暫く使えない状況が続いています。利用しやすいよう整備をすべきと考えますが、如何でしょうか。

10 道路・下水について伺います。

(1) 鎌倉市下水道総合浸水対策計画基本計画の4つの重点地区の進捗状況及び今後の見通しについて伺います。

(2) 令和6年の台風10号で、神奈川県では、がけ崩れや家屋の浸水などの被害が発生しています。浸水被害を軽減するには、河川の浚渫を計画的に進めていくことが現実的と考えます。令和6年度の実績と令和7年度の計画について伺います。

(3) 無電柱化推進計画の計画期間10年間で、無電柱化をどのように進めていくのか、また、令和7年度の実績について伺います。

11 深沢地域整備について伺います。

(1) 埋蔵文化財に係る調査の実施に伴う深沢地域整備事業の全体計画への影響について伺います。

12 交通について伺います。

(1) 鎌倉市地域公共交通活性化協議会が令和6年11月20日に第1回の会議を開いたと聞いていますが、不便地域の新たな考え方と解消に基づいて早期の計画づくりをお願いしたいと考えますが、如何でしょうか。

(2) 二階堂・浄明寺や玉縄で行っている移動支援については、そろそろ制度を構築する必要があると思いますが、如何でしょうか。

13 消防について伺います。

(1) 消防職員が有給休暇を取得し易い環境づくりについてどのように考えるか、伺います。

(2) 消防団の魅力向上や、地域貢献の意識づけが団員確保につながると考えますが、どのように取り組んでいるのか、伺います。

(3) 公共施設再編計画を進める上で市内の消防力に支障はないか、伺います。

14 教育について伺います。

(1) 鎌倉市内のまちづくりの変化で、学区の見直しもそろそろ始めていく必要があると思いますが、如何でしょうか。

(2) 全国的にいじめの件数が増加傾向ですが、子どもが主体的にいじめに関して考えていく必要性や地域との連携も大切と思いますが、どのように考えているのか、伺います。

(3) 鎌倉は一定の学力を保持していることは、全国学力状況調査でも理解していますが、塾などに通う児童・生徒が多いという現象も一向に減っていません。教育大綱も改訂される中、公教育の充実についてどのように考えているか、伺います。

(4) 障害者への理解を深めるための福祉教育を全ての学校で行って欲しいが、如何でしょうか。

(5) 市内学校の部活動の地域移行について、懸念しているのは、日頃の地域と学校との連携が非常に薄くなっている現状の中で、地域移行することが簡単であるとはとても思えません。部活動はその種目に長けることが目的だけではないなかで、学校の授業では得られない生涯にわたる人間関係を構築できるきっかけにもなるが、どのように考えているか、伺います。

(6) これからの小中学校での熱中症の対策について、今後の取組みについて伺います。

(7) 第一小学校、第一中学校を防災教育重点校として実践的な避難訓練や学校防災計画の改定に着手するとありますが、具体的な手法はどの様なものを考えているか。またその他の学校へはどの様に連携していくのか伺います。

(8) 学校・地域・家庭が連携を図って児童・生徒の教育を伝統的に実施してきたという認識ですが、文化祭や学校行事が少なくなるなど、地域が学校活動を知るすべがどんどん減っていると強く感じています。今後、どのように展開していくと考えているか、伺います。

(9) 校内フリースペースの全校整備が進んでいますが、課題と対策について伺います。

(10) 鎌倉市において『幼保小の架け橋プログラム』は進んでいるか。また幼保小の連携という点において、どのように考えているか、伺います。

(11) 学校給食費の無償化を進めて頂きたいが、如何でしょうか。

15 歴史・文化財について伺います。

(1) 『鎌倉の日本遺産』であることを強調し、伝えることが重要と考えますが、令和7年度の事業内容である「鎌倉の魅力を国内外に発信するコンテンツの作成」とはどのようなものか、伺います。

(2) 釈迦堂トンネル含む道路の現状と通行再開までの予定及び、史跡の整備、公開の状況について伺います。

(3) 地域行事や郷土芸能の保存、継承に向け、文化財指定を進めていくために必要な体制作りなどについて、どのように考えているか、伺います。

以上で、夢みらい鎌倉を代表して、登壇しての質問を終わります。